

特別展

# 田沼武能

写真展

時代を刻んだ貌とお

開館時間 / 9時 - 17時 (入館は16時30分まで)

休館日 / 月曜日 (4月30日は開館)、4月26日(木)、5月1日(火)、5月24日(木)

観覧料 / 一般800円、高校生460円、小・中学生230円 (各種割引あり)



瀬戸内寂聴 (1979年)



手塚治虫 (1963年)



川端康成 (1954年)

2018  
4/21 SAT  
|  
6/24 SUN  
仙台文学館 企画展示室



(公財) 仙台市市民文化事業団  
仙台文学館  
<http://www.sendai-lit.jp>

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
TEL: 022-271-3020 FAX: 022-271-3044

○主催 / 仙台文学館 ○企画協力 / クレヴィス  
○後援 / 朝日新聞仙台総局 河北新報社 産経新聞社東北総局 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 共同通信社仙台支社  
時事通信社仙台支社 TBC東北放送 仙台放送 三キテレビ K-OB 東日本放送 エフエム仙台



幸田 文 (1954年)

田沼武能は、その六十五年におよぶ写真家人生において、世界中の子どもたちのヒューマンなすがたを撮影してきました。その一方で、時代を象徴する文学者・芸術家たちの「貌」をライフワークとして撮り続け、数々の賞を受賞してきました。

みずからを「人間大好き人間」と評する田沼は、「貌にはその人の歴史、その人の心、内面までも捉えることができると思う」「貌には、それぞれのドラマを演じてきた人間の味わいがある」とも語っています。本展では、そのようにして写し撮られた昭和を代表する文化人たち、約百三十人の肖像写真を展示します。写真家・田沼武能が迫る、多彩な人間たちの「貌」をぜひご覧ください。

# かお 貌にはそれぞれのドラマを 演じてきた人間の味わいがある 田沼武能



たぬま たけよし  
田沼武能

1929年、東京・浅草に生まれる。東京写真工業専門学校を卒業後、サンニュースフォトスに入社、木村伊兵衛の助手となる。1951年、新潮社の嘱託として『芸術新潮』『新潮』の写真を担当。また、アメリカのタイムライフ社の契約写真家として雑誌『ライフ』の取材を行う。1972年、フリーランスとなる。ライフワークとして世界の子どもたち、変貌する東京、芸術家の肖像などを撮り続けている。日本写真家協会会長、日本写真著作権協会会長



松本清張 (1967年)

## 展示関連イベント

※会場はすべて仙台文学館講習室

### ① 田沼武能講演会「わが心の残像」

本展の展示作品について、田沼武能氏が写真を紹介しながらエピソードを語ります。

日 時：5月19日(土) 14:00～15:30

定 員：100名(先着)

申込方法：電話・ファクスで受付(ファクスの場合はイベント名・氏名・電話番号を明記)、  
定員になり次第受付終了します。

※入場には、会期中の特別展観覧券の半券が必要です。

### ② 写真家集団「仙台コレクション」による “写真 de タイムトリップ”とお話

仙台の風景を撮り続ける写真家集団「仙台コレクション」の皆さんが、昭和の懐かしい仙台の風景とこの日のあなたの写真を組み合わせて一枚の写真にします。また、「仙台コレクション」についてのお話もあります。

日 時：4月28日(土) 10:00～15:00

※お話は11:00からと14:00からの2回行います。お話だけの聴講も可能です。(聴講のみの場合は無料、申込不要、直接会場へ)

定 員：15名(先着)

参加費：500円

申込方法：4月6日(金) 10:00から電話・ファクスで受付(ファクスの場合はイベント名・氏名・電話番号を明記)。定員になり次第受付終了します。

#### ワークショップ

### ③ 「写真を素敵にアレンジ！」

思い出の写真やお気に入りの写真にシールやマスキングテープなどでデコレーションして、素敵にアレンジしてみませんか？(フォトフレーム付き)

講 師：yukari(富士フィルムイメージングシステムズ株式会社認定 アルバム大使)

日 時：4月30日(月・休) 10:30～12:00

定 員：20名(抽選)

参加費：1人500円

持ち物：L判サイズの写真1枚

申込方法：往復はがきに、イベント名・参加者(2名まで)の氏名・住所・電話番号を明記して、4月14日(土)<必着>までに仙台文学館へ。申込多数の場合は抽選。

#### 交通のご案内

##### ●バス利用の場合

〈宮城交通バス〉 仙台駅西口バスプール2～4、6番乗り場  
仙台北・泉地区方面行(急行・北山トンネル経由を除く)  
〈市営バス〉 仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行  
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

##### ●地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車、徒歩25分(台原森林公園内あかまつの道経由)

##### ●駐車場40台(無料)

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



(公財)仙台市民文化事業団

仙台文学館

<http://www.sendai-lit.jp>

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
TEL:022-271-3020 FAX:022-271-3044



このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。